

5月

のランチカレンダー



カフェ来★ぶら～り 2024

月	火	水	木	金	土	日
営業日 月・水・木・土 営業時間 11:00～16:00		1 +勝まるごとピザ スープ	2 ピザトースト トースト スープ	3	4 休業日	5
6 休業日	7	8 手作りカレー	9 道産小麦の 焼うどん	10	11 ピザトースト トースト スープ	12
13 ピザトースト トースト スープ	14	15 ピザトースト トースト スープ	16 ちらし寿司 ランチ	17	18 +勝まるごとピザ スープ	19
20 炊き込みご飯 ランチ	21	22 ピザトースト トースト スープ	23 おにぎり ランチ	24	25 手作りパン スープ	26
27 手作りカレー	28	29 ピザトースト トースト スープ	30 道産小麦の 焼うどん	31 トースト・ピザトースト(毎回あります) クッキー(毎回あります) シフォンケーキ(木曜・土曜にあります) ※月曜・水曜も各種手作りお菓子あります		



★印のメニューは、数量限定！
カウンターやお電話でご予約もお受けします

<日替りランチメニュー>

- ★おにぎりランチ(おみそ汁付)・・・600円
 - ★ちらし寿司ランチ・・・・・・・・・・600円
 - ★炊き込みご飯ランチ・・・・・・・・・・600円
 - ★道産小麦の焼うどん(小鉢付)・・・600円
 - ★手作りカレー(ピクルス付)・・・600円
- (★印の食後のコーヒーは100円です)

<軽食メニュー>

- ピザトースト・・・・・・・・・・350円
- トースト(バター・ジャム付)・・・250円
- クッキー・各種手作りお菓子・・・各120円
- +勝まるごとピザ(1、18日のみ)450円
- 手作りパン(25日のみ)・・・1個/120円
- スープ(月数回)・・・・・・・・・・1杯/120円

<飲みものメニュー>

- オリジナルブレンドコーヒー・・・・200円
- 果汁100%ジュース・・・・・・・・各120円
(アップル・オレンジ・グレープ)
- カルピス・・・・・・・・・・120円
- ごぼう茶・・・・・・・・・・120円

らい
来★ぶら～り TEL 090-1521-5205
(お会計はご注文の際にお願い致します)

会議などにご利用頂けるポットでのコーヒーもご用意できます！

カフェ来★ぶら〜り通信

文責：嶋野奈津美

先日、カフェのカウンターにいらっしゃったお客様が手に持たれていた「芽室文芸」。

思わず声をかけさせていただいたら、なんと編集委員さんでいらっしゃるとのことです。

町民の方が原稿を寄せて創りあげる文芸誌に、実はずっと憧れの念を持っていました。嬉しくてついつい色々とお話させていただきました。

私も文章を読んだり書いたりすることが好きなので「芽室文芸」のことは気になっていたのですが、原稿を送るにあたっては敷居が高いなと感じていました。でも、その編集委員の方は「そんなことないので、ぜひ応募してください。」とおっしゃってくださったので、次号はチャレンジしてみたいと思っています。

「言語を使った表現」には、とても魅力を感じます。

例えば、冒頭の編集委員長さんの「巻頭言」の中で、「1974年に産声を上げた芽室文芸を、今日に至るまで育ててくださった関係各位…」という表現があります。

「1974年に初刊を迎え、今日まで継続してこられた関係各位…」という説明でも良いところを、「産声」「育てる」という表現で表しているところがお洒落だなあと感じます。

語彙の豊かな方や、異なる言語の文化(?)の方とお話しているととても刺激を受けます。

例えば、PTAや町内会の関係で男性の方が挨拶でよく使う「おぼんでございます」という言葉。私もいつか使ってみたいと思っているのですが、ちょっとまだ勇気が足りません。女性の方が使っている場面に出会ったことがないので、男性特有の挨拶なのでしょうが？

また、異なる文化の言語といえば、息子(高校2年生)が使うヘンテコな言葉があります。

「ワンチャン」…もしかしたら

「ガチ」…本当に

と、このあたりまでは受け入れることができたのですが、近ごろ「しょうみ、これ要らなかった」とか「しょうみ、大丈夫じゃね?」と、なぞの言語を頻繁に使うようになりました。

「しょうみ」と言ったら「正味財産」「正味価格」等の「正味」です。「余分なものを取り除いた、物の本当の中身」等という意味です。

息子が使うヘンテコな「しょうみ」について調べてみたところ、もともと関西弁だったのが若者言葉として全国に広がったとのこと。

「本当のところ、正直なところ、結局のところ」という意味で使われているそう。

「しょーみ、しょーみ」と語りかけてくる息子に対し、親共は「アイ キャンノット アンダースタンド」状態で、何を言っているのかサッパリ理解できずに、首をかしげるばかりです。

【第51号「芽室文芸」の原稿を募集しているそうです🎵】

応募資格：芽室町在住、また芽室町にゆかりのある15歳以上の方

募集期間：令和6年5月1日～8月30日

その他詳しいことは発行者「芽室文芸編集委員会」までお問合せください。※4月号の町広報すまいるに問い合わせ先が掲載されています。

なお、「芽室文芸50号」は、図書館、めむろ町民活動支援センターにてご覧いただけるそうです。

来年の51号に私の原稿がなかった際には、どうぞお察しください…笑